

# Technics®

## ミニディスクデッキ 取扱説明書

品番 **SJ-MD150**



上手に使って上手に節電

### 保証書別添付

このたびは、ミニディスクデッキをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



RQT5158-S

# 本機ではこんなことができます

## デジタル録音が可能

CD などデジタル機器から高音質なデジタル録音ができます。

## 簡単録音

テープとちがって、MD は自動的に続きから録音するので、頭出しや録音されていない部分を探す必要はありません。

音が出ている間だけ録音するシンクロナイズ録音もできます。

## 簡単編集

ディスクや曲にタイトルを記録できます。一歩進んで好みのメッセージを記録してみてもいいでしょう。

文字入力もジョグダイヤルで簡単です。

また、曲を分けたり、並べ換えたり多彩な機能でオリジナル MD がつくれます。

## MONO モードで長時間録音が可能

サンプリングレートコンバータ内蔵なので、CD や MD とはサンプリング周波数の異なる BS、CS チューナー（32kHz、48kHz）や DAT からのデジタル録音も可能

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット  
シンボルマーク

本機はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

# もくじ

## まず

確認と準備

安全上のご注意.....	4
準備をする.....	6
付属品の確認	
リモコン	
接続のしかた	

## すぐ

使いたいとき

CDを録音する.....	8
MDを聞く.....	10

## もっと

使いこなしたいとき

いろいろな録音.....	12
デジタル録音・アナログ録音	
シンクロ録音	
好みの位置にトラックマーク(曲番)をつける	
いろいろな聞きかた.....	14
好みの曲から聞く(ダイレクトプレイ)	
順不同に聞く(ランダムプレイ)	
好みの曲を好みの順で聞く(プログラムプレイ)	
繰り返し聞く(リピート)	
便利な機能	
MD編集.....	18
タイトルをつける	
1曲を2曲に分ける(ディバイド)	
2曲を1曲にまとめる(コンバイン)	
曲を移動する(ムーブ)	
曲を消去する(イレース)	
タイマーで録音/再生する.....	24

## もし

必要なとき

MDについて.....	25
お電話の前に一度ご確認を	
Q & A.....	26
故障かな!?	26
こんな表示が出たら... ..	27
お手入れ.....	27
各部のなまえ.....	28
保証とアフターサービス.....	30
著作権について/主な仕様.....	裏表紙

ご使用前に

使いかた

必要なとき

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 警告

### 電源コード

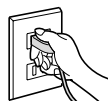
#### 電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

#### 電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

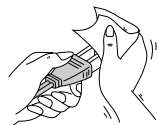
#### ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

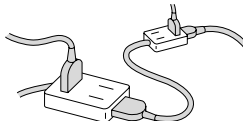
ぬれ手禁止

#### 電源プラグのほこり等は定期的にとる



- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

#### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 使用方法

#### 機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

#### 分解、改造したりしない



分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

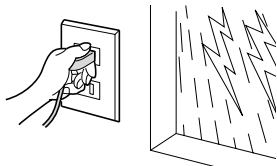
## ⚠ 警告

### 雷

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止



- 感電の恐れがあります。

### もし異常が起きたら

以下のようなときは  
電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

## ⚠ 注意

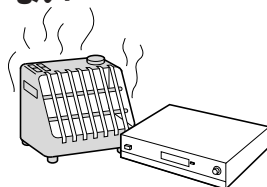
### 設置・接続について

以下のことを守り  
正しく設置する



- 不安定な場所に置かない
- 上に大きなもの重いものを載せない
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなる  
ところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ  
や湿気やほこりの多いところ  
に置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

### 使用方法

ヘッドホン使用時は  
音量を上げすぎない



- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

コードを接続した状態で  
移動しない



- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

### 乾電池

以下のことを守り正しく取り扱う



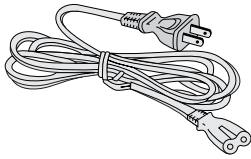
- +と- は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長期間使用しないときは、取り出しておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起きたら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

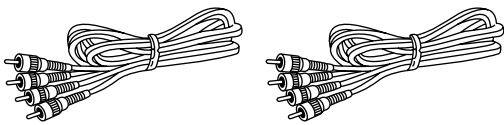


## 付属品の確認

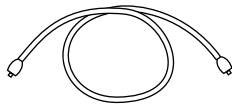
電源コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本  
(品番：RJA0059-J)



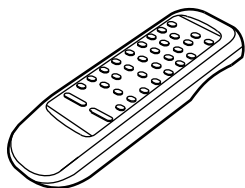
ステレオピンコード・・・・・・・・・・・・・・2本  
(品番：RJL2P004B08)



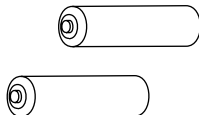
光ケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1本  
(品番：RJL1X007B08)



リモコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個  
(品番：EUR645272)



単3形乾電池・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2個

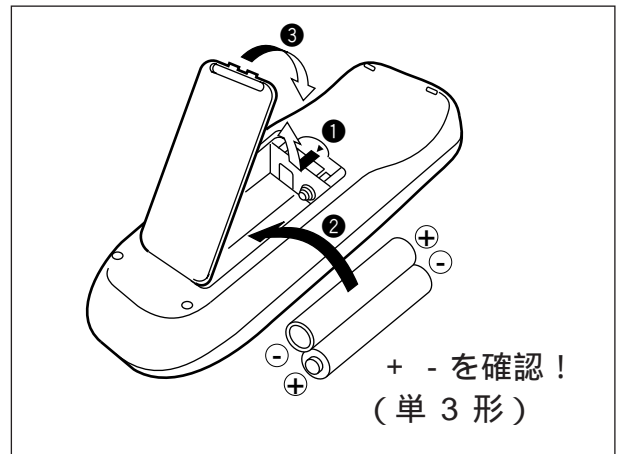


付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。( )内は買い替え時の品番です。

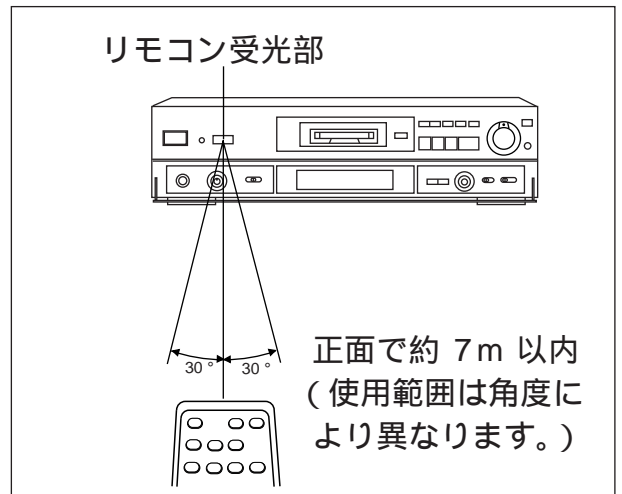
付属の電源コードは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

## リモコン

### 乾電池の入れかた



### リモコンの使いかた



#### 使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコン先端のほこりに注意。  
故障防止のために
- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

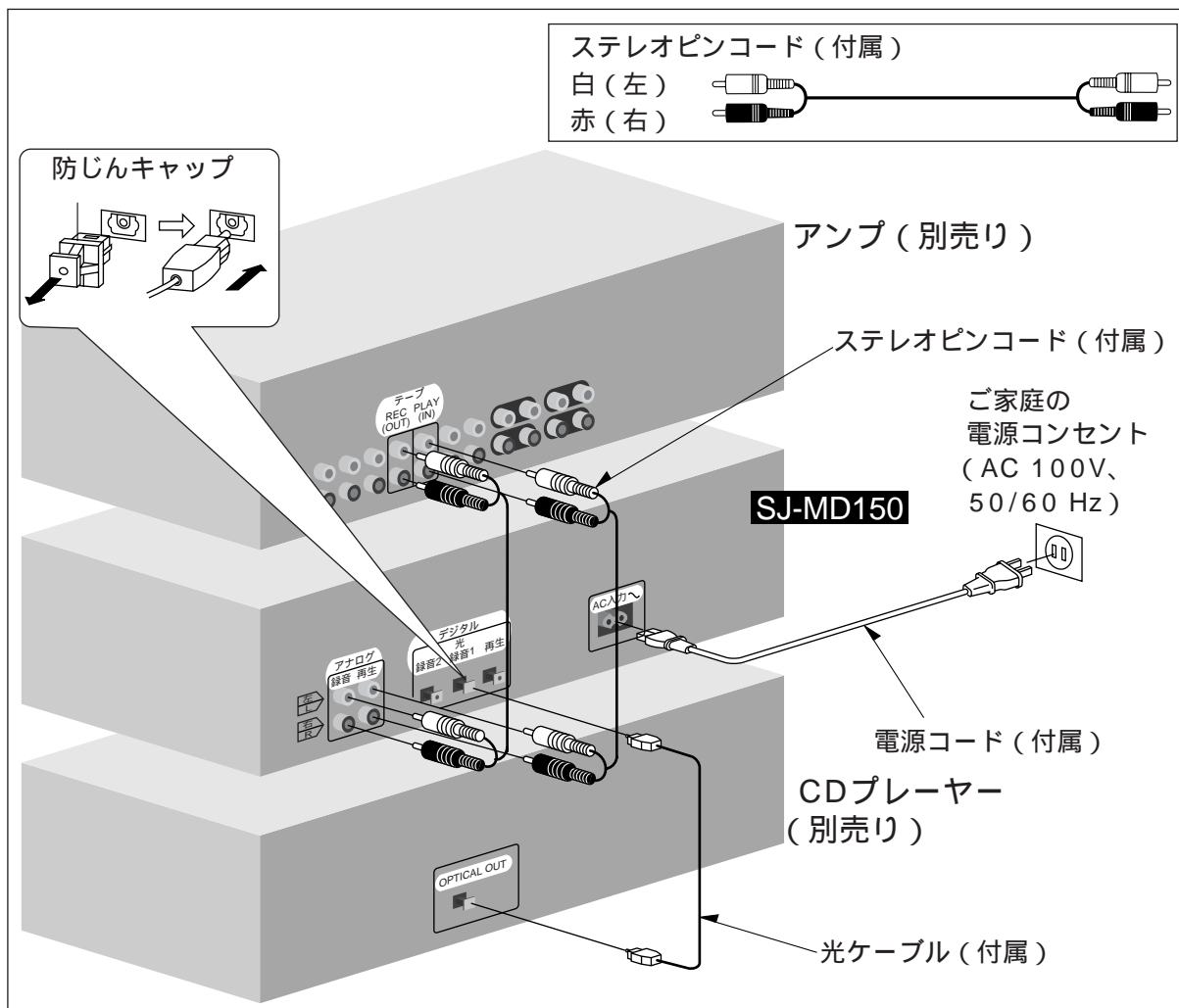
### 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

## 接続のしかた

### お願い

- 接続前にすべての機器の電源を切ってください。
- 電源コードは最後に接続してください。



## ご使用前に

- 付属品の確認
- リモコン
- 接続のしかた

上記接続例以外の接続をするときは、下記端子の説明を参考にして、お手持ちの機器に合わせて接続してください。

### アナログ “録音” 端子

アンプの出力端子と接続します。アンプに接続した機器を本機にアナログ録音できます。

### アナログ “再生” 端子

アンプの入力端子と接続します。本機の演奏音がアンプに接続したスピーカーで楽しめます。

### お願い

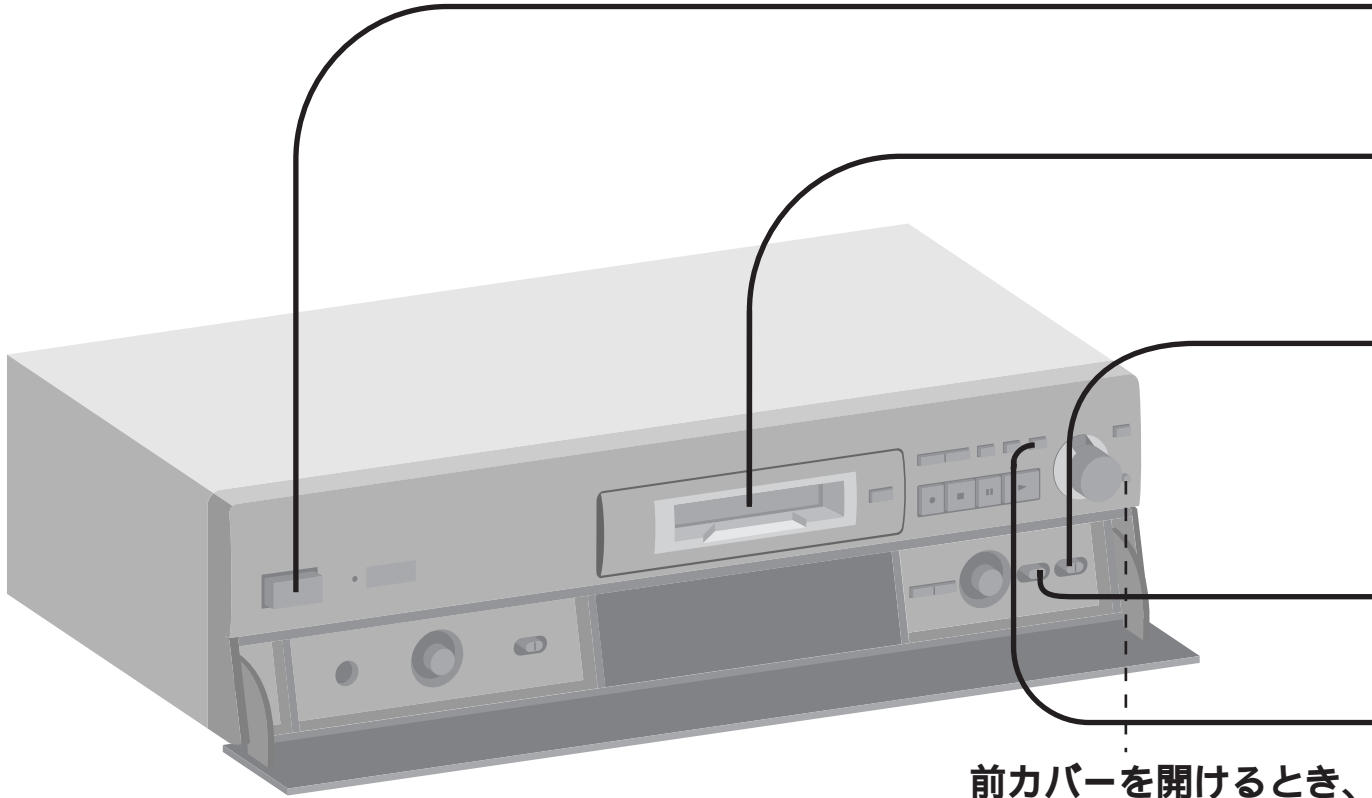
デジタル端子を使う前に、防じんキャップを外してください。デジタル端子を使わないときは、必ず防じんキャップをつけておいてください。

### デジタル “録音” 端子

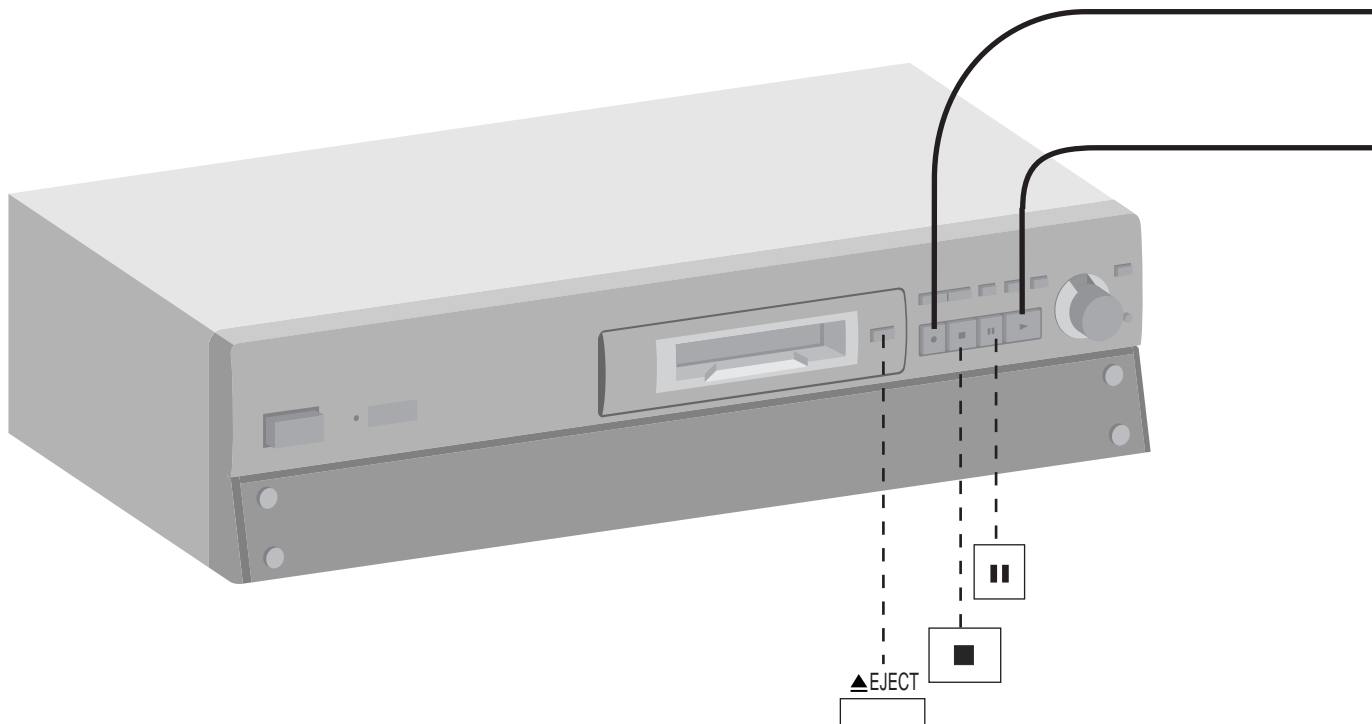
CD プレーヤーなどデジタル機器の光出力端子と接続します。本機にデジタルで録音できます。

### デジタル “再生” 端子

MD デッキなどデジタル録音機器の光入力端子と接続します。本機の演奏音をデジタル録音機器にデジタルで録音できます。



前カバーを開けるとき、  
ここを押します。

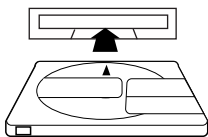


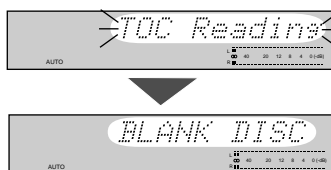


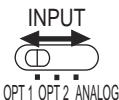
## デジタル“録音 1”または“録音 2”に接続した CD プレーヤーから録音してみましょう

初めて MD をお使いになる場合や、わからない用語があるときは 25 ページの“MD について”をご覧ください。

1  押して  
電源を入れる

2  録音用 MD を入れる  
途中まで押し込むと自動的に引き込まれます。



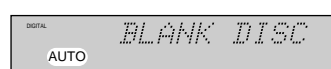
3  CD プレーヤーが接続されている端子に合わせる  
OPT 1 : デジタル録音 1  
OPT 2 : デジタル録音 2

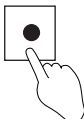


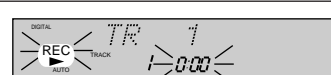
4  “STEREO” にする

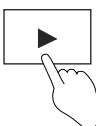


5  押して  
“AUTO” を点灯させる  
トラックマーク（曲番）が自動で入ります。



6  押して  
録音待機状態にする



7  押す

8 CD を再生する  
CD から MD への録音が始まります。



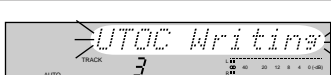
録音を途中で止める：  押す

“UTOC Writing” の点滅が終了後、録音が完了します。

一時停止する：  押す

トラックマークが 1 つつきます。  
録音に戻るにはもう一度押します。

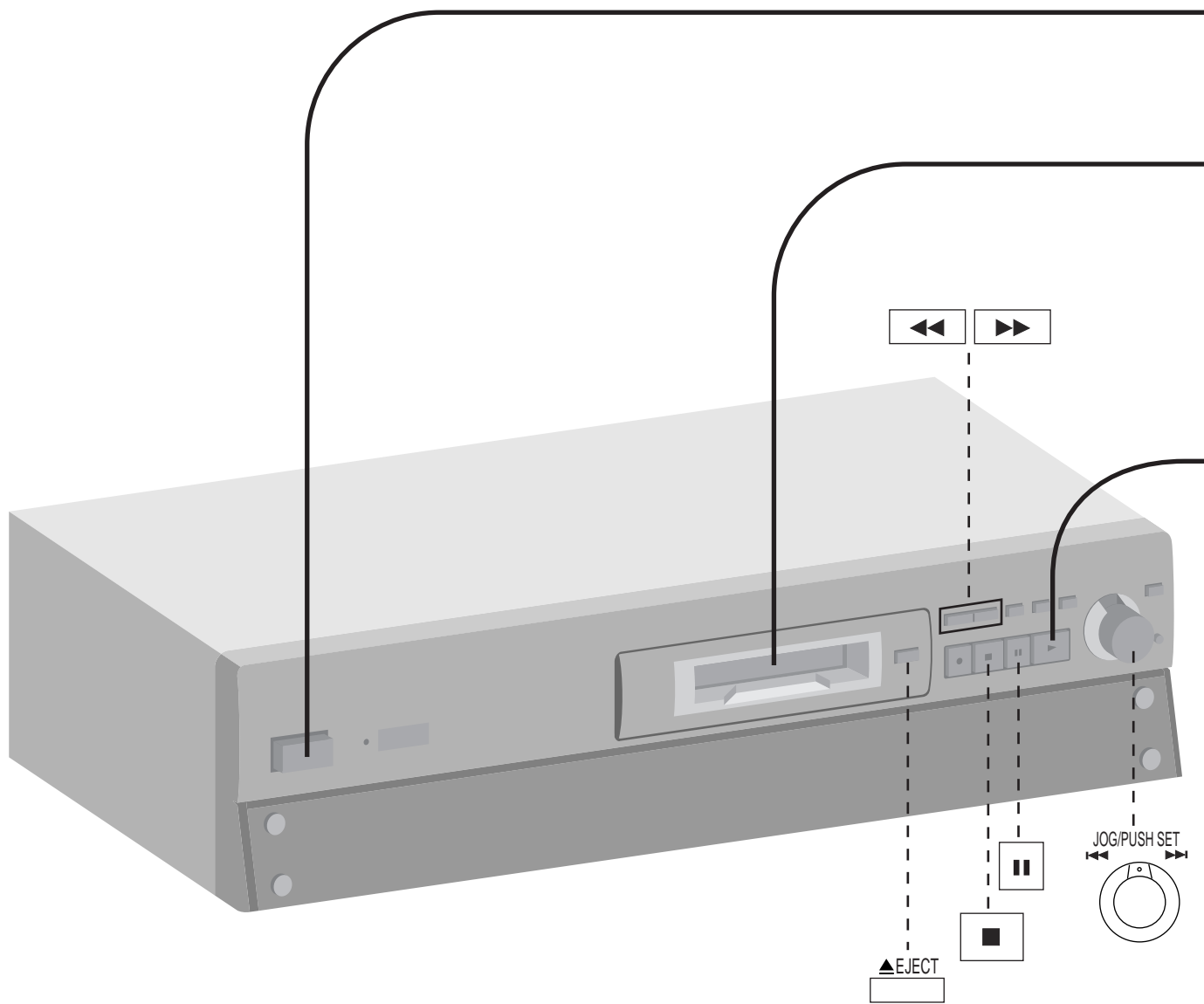
MD を取り出す：  押す



録音の準備

録音

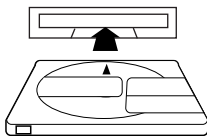
使いかた



# 録音済みの MD を再生してみましょう

初めて MD をお使いになる場合や、わからない用語があるときは 25 ページの “ MD について ” をご覧ください。

1  押して  
電源を入れる

2  再生用 MD を入れる  
途中まで押し込むと自動的に引き込まれます。

TOC Reading

NO TITLE

24 00:13


総曲数 | 総演奏時間

3  押して  
再生を始める

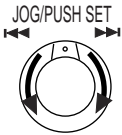
TRACK 1

1 001

演奏を停止する :  押す

演奏を一時停止する :  押す  
再生に戻るにはもう一度押します。

MD を取り出す :  押す

前後の曲にとぶ :  カチカチと回す  
(スキップ)  
(戻る) (進む)

早送り / 早戻しする :   演奏中に押し続ける  
(サーチ)  
(戻る) (進む)

## お知らせ

ステレオ録音、モノラル録音混在の MD でもそのまま再生できます。

## デジタル録音・アナログ録音

後面のデジタル“録音 1”または“録音 2”端子に接続した機器から録音すると、デジタル録音になります。

後面のアナログ端子に接続した機器から録音すると、アナログ録音になります。

<準備>

### 電源を入れ、録音用 MD を入れる

#### 1 [INPUT] で 録音する機器が接続されている端子を選ぶ

OPT 1 : デジタル録音 1  
OPT 2 : デジタル録音 2  
ANALOG : アナログ

#### 2 [REC MODE] で 録音モードを選ぶ

STEREO : 通常はここに合わせます。  
MONO : 録音可能時間が、MD に記載されている時間の約 2 倍になります。(音声はモノラルです)

#### 3 [TRACK MARK/CHARA SKIP] を押して マーキングモードを選ぶ

AUTO : トラックマーク(曲番)が自動で入ります。  
消灯 : トラックマークを入れたくないとき、または手動で入れるときに選択します。(13 ページ“好みの位置にトラックマーク(曲番)をつける”参照)  
トラックマークは録音後でも編集できます。(20、21 ページ参照)

#### お知らせ

ごく小さな音で始まったり、途中で無音に近い部分がある曲、または曲間が短かったり、雑音が多い場合は、正確にトラックマークが入らないことがあります。このようなときはトラックマークを手動で入れるか、録音後に編集してください。

#### 4 [ ] を押して 録音待機状態にする

#### 5 アナログ録音のときのみ

#### [REC LEVEL] で 録音レベルを調整する

録音する機器を再生する

[REC LEVEL] を回して適度なレベルに合わせる  
最大音量のときに、ピークレベルメーターが赤色ランプ(0 dB)にならないようにしてください。

録音する機器を停止する

#### お知らせ

デジタル録音の場合は、録音レベルは自動設定されます。調整する必要はありません。

#### 6 [▶] を押してから録音する機器を再生する 録音が始まります。

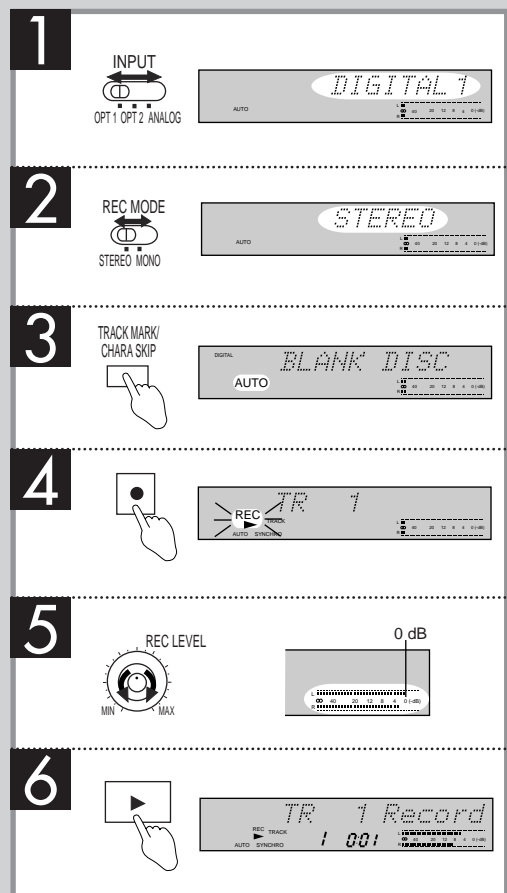
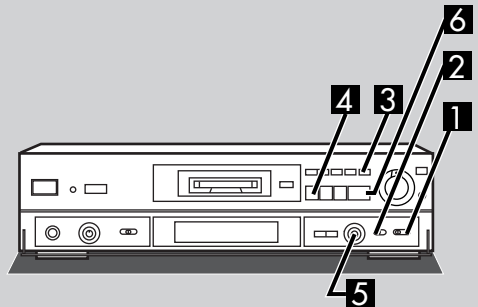
録音を途中で止める : [ ] を押す

“UTOC Writing” の点滅が終了後、録音が完了します。

一時停止する : [||] を押す

マーキングモードを“AUTO”にしているときは、トラックマークが 1 つつきます。

録音に戻るにはもう一度押します。



## シンクロ録音

A

演奏が始まると自動的に録音が始まります。

<準備>

電源を入れ、録音用 MD を入れる

### 1 録音の準備をする

デジタル録音：12 ページ手順 1 ~ 3

アナログ録音：12 ページ手順 1 ~ 5 の後、  
[ ] を押してください。

### 2 [SYNCHRO REC] を押す

### 3 [ ] を押して

録音待機状態にする

### 4 録音する機器の演奏を始める

演奏と同時に録音が始まります。

演奏が終わると

本機は一時停止状態になります。[ ] を押して、録音を止めてください。

**録音を途中で止める：**[ ] を押す

“ UTOC Writing ” の点滅が終了後、録音が完了します。

**一時停止する：**演奏を一時停止、または停止するトラックマークが 1 つつきます。

録音に戻るにはもう一度演奏を始めます。  
本機の[ ] は働きません。

#### お知らせ

ごく小さな音で始まったり、途中で無音に近い部分がある場合は、正確に録音されないことがあります。このような曲は、“ SYNCHRO ” を消灯させ、12 ページの方法で録音してください。

## 好みの位置にトラックマーク（曲番）をつける

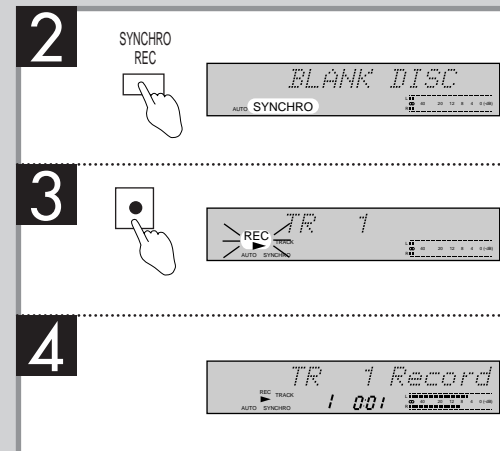
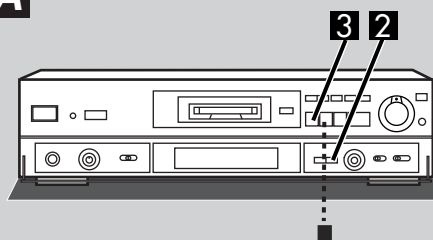
B

録音中に

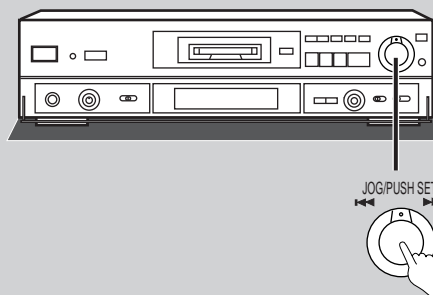
[JOG/PUSH SET] を押す

押したところにトラックマークがつき、曲番が増えます。

A



B



## 使いかた

- デジタル録音・アナログ録音
- シンクロ録音
- 好みの位置にトラックマーク（曲番）をつける

## 好みの曲から聞く（ダイレクトプレイ）

A

### リモコンのみ

停止中でも再生中でも、数字ボタンを押して  
聞きたい曲番を選ぶ

選んだ曲から最後の曲まで演奏した後、停止します。

曲番 10 以上を選ぶには：

- 10 ~ 99

[≥10] を押した後、数字ボタンを押す

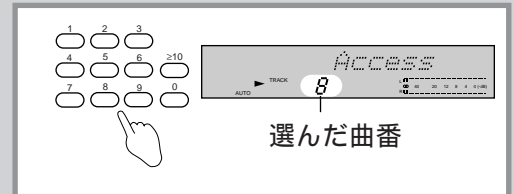
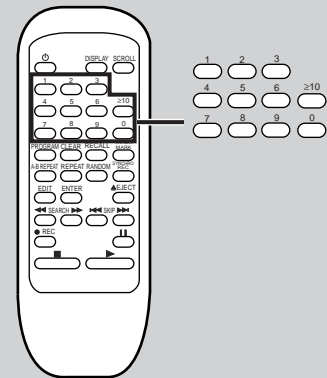
(例) 曲番 10 : [≥10] [1] [0]

- 100 ~ 254

[≥10] を 2 回押した後、数字ボタンを押す

(例) 曲番 235 : [≥10] [≥10] [2] [3] [5]

A



## 順不同に聞く（ランダムプレイ）

B

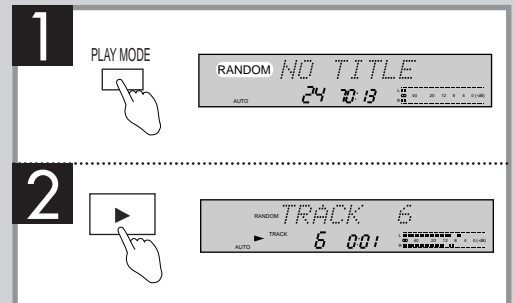
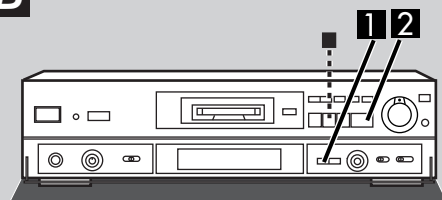
- 1 停止中に [PLAY MODE] を押して  
“RANDOM” を点灯させる



- 2 [▶] を押す

各曲を 1 回ずつ順不同に演奏した後、停止します。

B



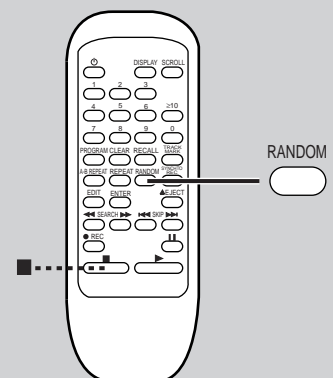
<リモコンでランダムプレイする>

停止中に

[RANDOM] を押す

演奏が始まります。

C



**解除する：**停止中に[ ]を押す  
“RANDOM” が消灯します。

### お知らせ

ランダムプレイ中は

- [◀◀] で、演奏の終わった曲に戻ることはできません。
- 演奏中の曲の中だけ早送り / 早戻しできます。



## 好みの曲を好みの順で聞く (プログラムプレイ)

最大 24 曲まで予約できます。

- 1 停止中に [PLAY MODE] を押して  
“ PRGM ” を点灯させる

押すたびに PRGM → RANDOM  
消灯 ←

- 2 [JOG/PUSH SET] を回して  
曲番を選び、押す  
同じ操作を繰り返し、曲を順番に予約します。

- 3 [▶] を押す  
予約曲を順番に演奏した後、停止します。

### <リモコンでプログラムプレイする> D

停止中に

[PROGRAM] を押す

数字ボタンを押して曲番を選ぶ

続けて曲番を選びます。

(曲番の選び方は 14 ページ参照)

[▶] を押す

**解除する**：停止中に[ ]を押す

“ CLEAR ” が約 1 秒表示され、“ PRGM ” が消灯します。予約内容も取り消されます。

#### お知らせ

電源を切っても解除されません。

**予約曲を確認する (リモコンのみ)：**

[RECALL]を押す

予約曲が順番に表示されます。

**予約曲の一部を取り消す (リモコンのみ)：**

停止中に [RECALL] を押して取り消したい曲番を表示させる

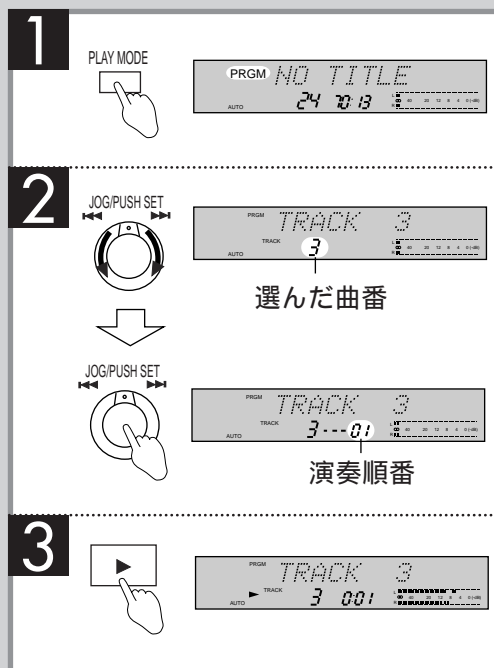
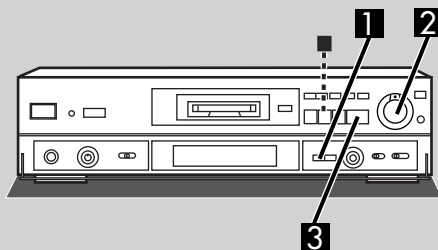
“ RECALL ” が表示されている間に [CLEAR] を押す

#### お知らせ

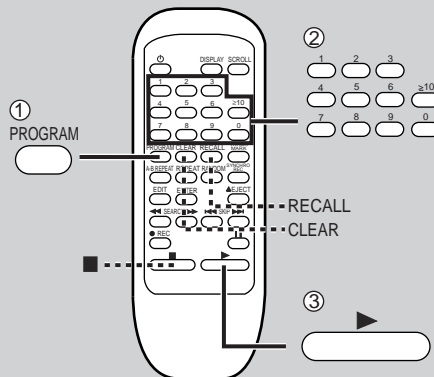
プログラムの最後の曲を取り消すときは [CLEAR] を押すだけでかまいません。

**“ FULL ” が表示されたら：**

予約曲が 24 曲を超えたことを示しています。これ以上予約できません。



D



いろいろな聞きかた



使いかた

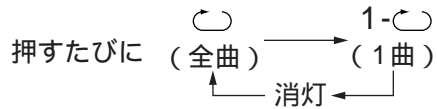
- 好みの曲から聞く (ダイレクトプレイ)
- 順不同に聞く (ランダムプレイ)
- 好みの曲を好みの順で聞く (プログラムプレイ)

## 繰り返し聞く (リピート)

### リモコンのみ

#### 1 曲 / 全曲を繰り返す

[REPEAT] を押して  
“” または “1-” を点灯させる



解除する：停止中に [ ] を押す

#### 好みの部分を繰り返す (A-B リピート)

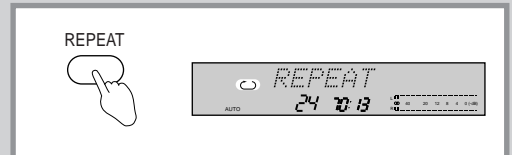
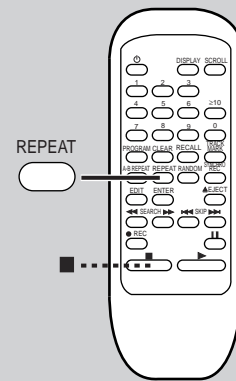
曲の聞きたい部分のみ繰り返すことができます。

**1** 演奏中に、繰り返したい部分の始めの位置で  
[A-B REPEAT] を押す

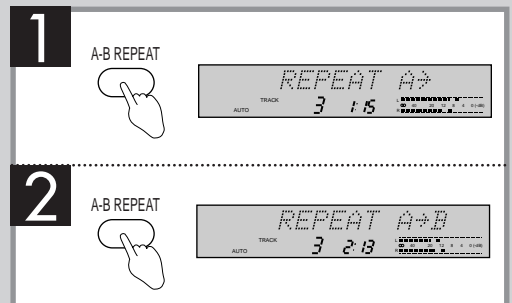
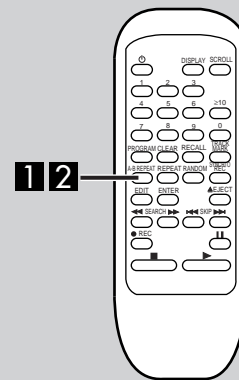
**2** 繰り返したい部分の終わりの位置で  
再び [A-B REPEAT] を押す  
選んだ部分が繰り返し演奏されます。

解除する：[A-B REPEAT] を押す  
演奏を停止しても解除されます。

**A**



**B**



## 便利な機能

### 表示を切り換える

C

#### [DISP/CHARA] を押す

押すたびに表示が切り換わります。表示内容は動作状態によって異なります。

#### 演奏中

曲名と演奏経過時間  
曲番と演奏残り時間

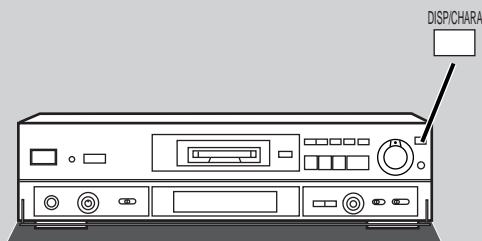
#### 録音中

曲番とその曲の録音経過時間  
MD の残り時間

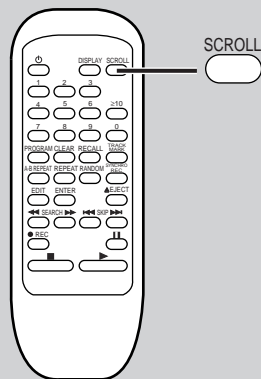
#### 停止中

ディスクタイトルと総曲数、総演奏時間  
MD の残り時間

C



D



### 長いタイトルを見る

D

#### リモコンのみ

タイトル表示中に

#### [SCROLL] を押す

タイトルが右から左へ流れていきます。

### ヘッドホンで聞く

E

[LEVEL] を回して音量を下げる

[PHONES] 端子にヘッドホン（別売り）を接続する

プラグタイプ：ステレオ大型（M6）

[LEVEL] を回して音量を調節する

#### お願い

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞かないでください。

### デジタル機器の音声を本機を通して聞く

F

本機のデジタル入力に接続されたデジタル機器の音声を、本機内部でアナログ出力に変換します。この機能を使えば、デジタル出力しか持たない機器の音声を聞くことができます。また、デジタル機器のアナログ出力より音質がよくなる場合があります。例えば、パソコンのデジタル出力付きのサウンドボードのアナログ出力は、ノイズの影響を受けやすいので、この機能を使うことによってノイズを減らすことができます。

[▲ EJECT] を押し、MD を取り出す

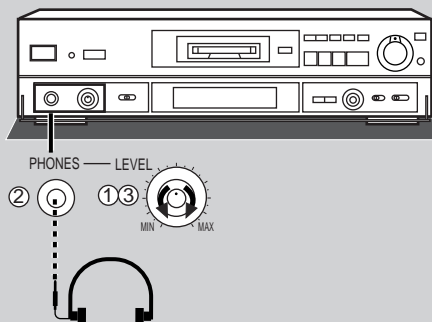
[ ] を押す

“Monitor” が表示されます。

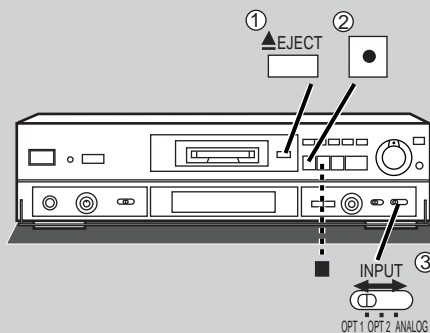
[INPUT] で演奏する機器を接続している端子を選ぶ

接続した機器の演奏を始める

E



F



使いかた

- 繰り返し聞く（リポート）
- 便利な機能

**演奏を止める：**接続した機器の演奏を止め、本機の [ ] を押す

## タイトルをつける

タイトルごとに最大 100 文字、1 枚の MD には約 1700 字まで入力できます。  
再生専用 MD にはタイトルをつけることはできません。

**1** 停止中に [EDIT] を押して  
“TRACK TITLE?” (曲名) または  
“DISC TITLE?” (ディスク名) を選ぶ  
押すたびに  
TRACK TITLE? DISC TITLE? MOVE? COMBINE?  
TRACK ERASE? ALL ERASE? 元の表示

**2** “TRACK TITLE?” のときのみ  
[JOG/PUSH SET] を回して  
曲番を選ぶ

**3** [ENTER] を押す  
文字入力画面になります。

**4** [DISP/CHARA] を押して  
文字の種類を選ぶ

押すたびに 大文字 / 記号 → 小文字 / 記号  
カタカナ ← 数字

文字の種類	入力できる文字
大文字 / 記号	ABCDE FGHIJ KLMNO PQRST UVWXY Z 空白! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ `
小文字 / 記号	abcde fg hij klmno pqrst uvwxy z 空白! " # \$ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ _ `
数 字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
カタカナ	アイウエオ カキク.....- °`

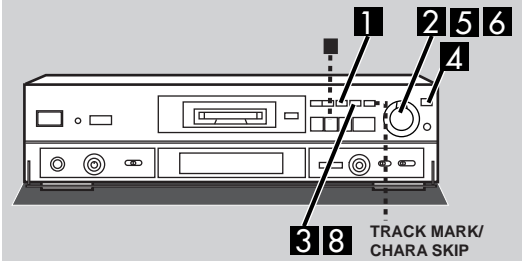
˘ (濁点) や ˘ (半濁点) は、表記可能なカタカナにだけ入力できます。

**5** [JOG/PUSH SET] を回して  
文字を選ぶ  
[TRACK MARK/CHARA SKIP] を押すと 5 文字ずつ表示を替えることができます。

**6** [JOG/PUSH SET] を押す

**7** 手順 **4** ~ **6** を繰り返して  
タイトルをつくる

**8** [ENTER] を押す  
“UTOC Writing” の点滅が終了後、タイトル入力が完了します。



**1** EDIT

**2** JOG/PUSH SET

選択した曲番

**3** ENTER

入力した文字を表示 入力候補

カーソル

**4** DISP/CHARA

**5** JOG/PUSH SET

選んだ文字

**6** JOG/PUSH SET

確定された文字

文字数

**8** ENTER

## 入力を中止する：

手順 2 までは [ ] を押す

手順 3 ~ 7 までは [EDIT] を押してから [ ] を押す

## 入力カーソルを移動させる：

[◀◀] または [▶▶] を押す

## 文字を消去する：

消去したい文字にカーソルを合わせ、[ ] を押す

## 文字や空白を挿入する：

挿入したい位置の後ろの文字にカーソルを合わせ、[JOG/PUSH SET] で文字や空白を選ぶ

## 文字を変更する：

変更する文字を消去する

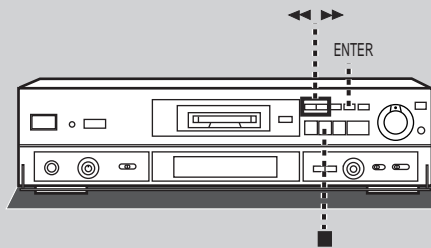
消去した位置に別の文字を挿入する

## タイトルを修正する：

修正したいタイトルを表示させる（18 ページ  
手順 1 ~ 3 参照）

上記の編集方法でタイトルを修正する

[ENTER] を押す



## 録音中または演奏中に曲にタイトルをつける

A

### 1 [EDIT] を押して

“TRACK TITLE?” を表示させる

演奏中は押すたびに

TRACK TITLE? DIVIDE? MOVE?

COMBINE? TRACK ERASE? 元の表示

### 2 [ENTER] を押す

### 3 タイトルを入力する

（18 ページ手順 4 ~ 7 参照）

録音中は次の曲にかわっても入力は続けることができます。

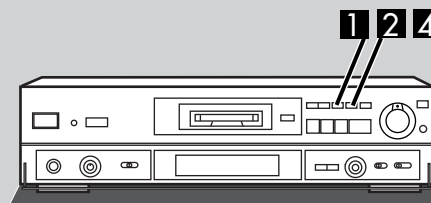
演奏中は入力が終わるまでその曲が繰り返されます。

### 4 [ENTER] を押す

タイトル入力が完了します。

入力を中止する：元の表示に戻るまで[EDIT] を押す

A



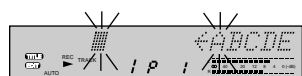
1

EDIT



2

ENTER

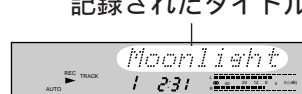


4

ENTER



記録されたタイトル

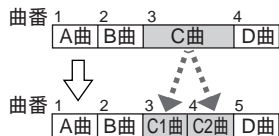


使いかた

● タイトルをつける

## 1 曲を 2 曲に分ける (ディバイド)

たとえば、クラシックの録音後、楽章ごとに曲を分けることで、各楽章の頭出しができます。



- 1 分けたい曲の演奏中に、[EDIT] を押して  
“DIVIDE?” を選ぶ  
押すたびに  
TRACK TITLE? DIVIDE? MOVE?  
COMBINE? TRACK ERASE? 元の表示

- 2 [ENTER] を押す  
わけたい位置を過ぎてしまっている場合は [JOG/  
PUSH SET] を回して曲の頭に戻してください。  
他の曲に変更することもできます。

- 3 わけたい位置で  
[JOG/PUSH SET] を押す  
その位置から約 4 秒間 (録音モード “MONO” のときは約 8 秒間) を繰り返し演奏します。

- 4 [JOG/PUSH SET] を回して  
位置を調整する  
前後約 8 秒間 (録音モード “MONO” のときは約 16 秒間) の範囲を、-128 ~ +127 に区切って表示します。

- 5 [ENTER] を押す  
確認表示が出ます。

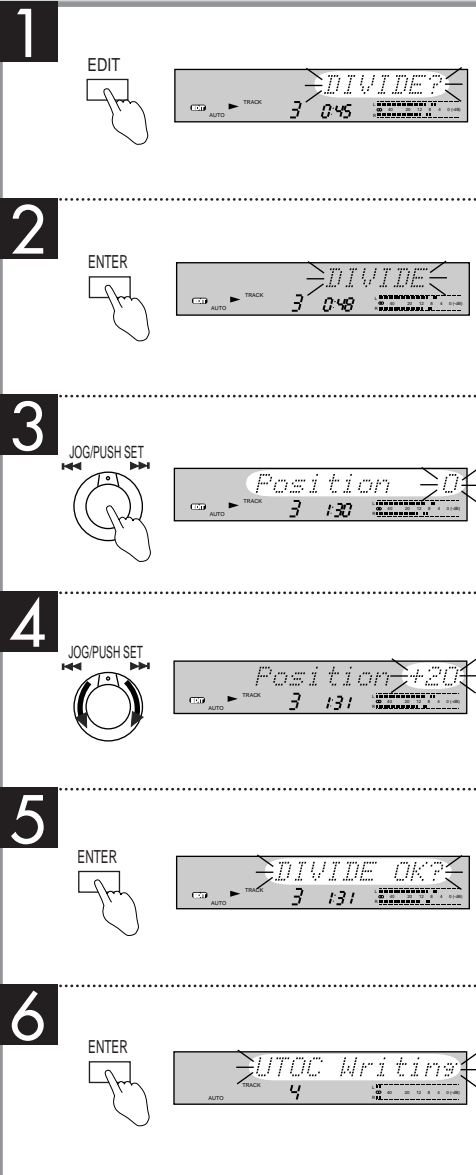
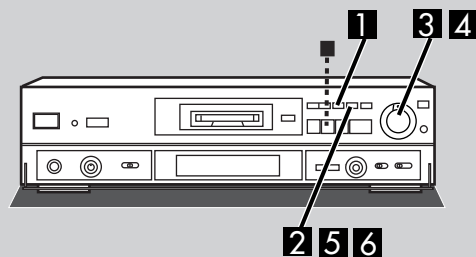
- 6 [ENTER] を押す  
“UTOC Writing” の点滅が終了後、編集が完了します。

途中で解除する : [ ] を押す

2 曲に分けた曲を再び 1 曲にする :  
コンバイン機能を使う (21 ページ参照)

### お知らせ

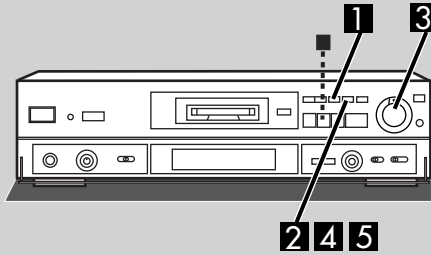
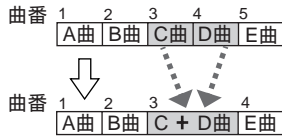
- タイトルをつけた曲を分けるとき、後の曲はタイトルが付きません。
- 新しい曲番をつけても音が途切れることはありません。





## 2 曲を 1 曲にまとめる (コンバイン)

たとえば、個々に独立しているメドレー集を 1 つにまとめて扱えるようになります。



- 1** 停止中に [EDIT] を押して  
“ COMBINE? ” を選ぶ  
押すたびに  
TRACK TITLE? DISC TITLE? MOVE? COMBINE?  
TRACK ERASE? ALL ERASE? 元の表示
- 2** [ENTER] を押す
- 3** [JOG/PUSH SET] を回して  
まとめる 2 曲を選ぶ
- 4** [ENTER] を押す  
確認表示が出ます。
- 5** [ENTER] を押す  
“ UTOC Writing ” の点滅が終了後、編集が完了  
します。

途中で解除する：[ ] を押す

1 曲にまとめた曲を再び 2 曲に分ける：

ディバイド機能を使う (20 ページ参照)

演奏中にコンバインする：

曲を確認してから編集することができます。

まとめる後ろの曲を演奏中に [EDIT] を押して

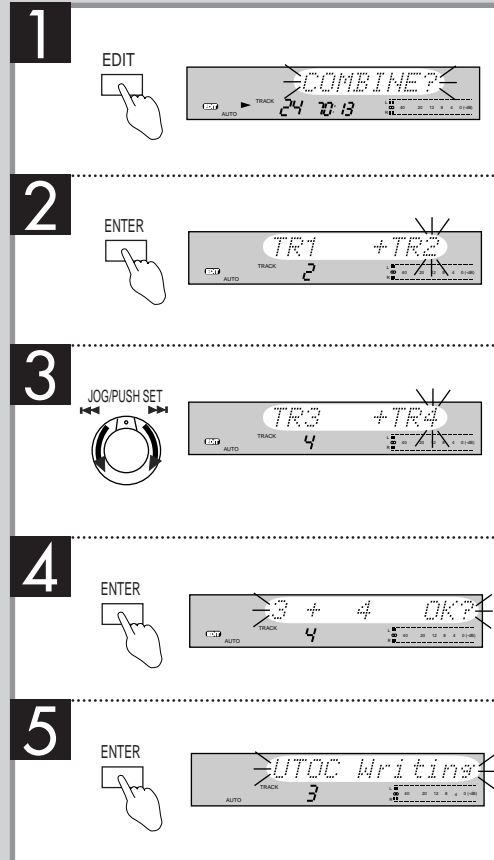
“ COMBINE? ” を選ぶ

[ENTER] を 3 回押す

“ UTOC Writing ” の点滅が終了後、編集が完了  
します。

### お知らせ

- STEREO モードで録音した曲と MONO モードで録音した曲をまとめることはできません。
- タイトルがついている 2 曲をまとめると、前の曲のタイトルになります。

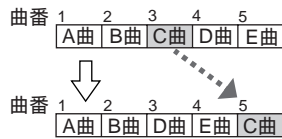


## 使いかた

- 1 曲を 2 曲に分ける (ディバイド)
- 2 曲を 1 曲にまとめる (コンバイン)

## 曲を移動する（ムーブ）

曲をすきなところに移動させて、曲順を変えられます。



- 1** 停止中に [EDIT] を押して  
“ MOVE? ” を選ぶ  
押すたびに  
TRACK TITLE? DISC TITLE? MOVE? COMBINE?  
TRACK ERASE? ALL ERASE? 元の表示
- 2** [JOG/PUSH SET] を回して  
移動したい曲番を選ぶ
- 3** [ENTER] を押す
- 4** [JOG/PUSH SET] を回して  
移動先の曲番を選ぶ  
たとえば曲番 5 にしたいときは “ 5 ” を表示させます。
- 5** [ENTER] を押す  
確認表示が出ます。
- 6** [ENTER] を押す  
“ UTOC Writing ” の点滅が終了後、編集が完了します。

途中で解除する：[ ] を押す

### 演奏中にムーブする：

曲を確認してから編集することができます。

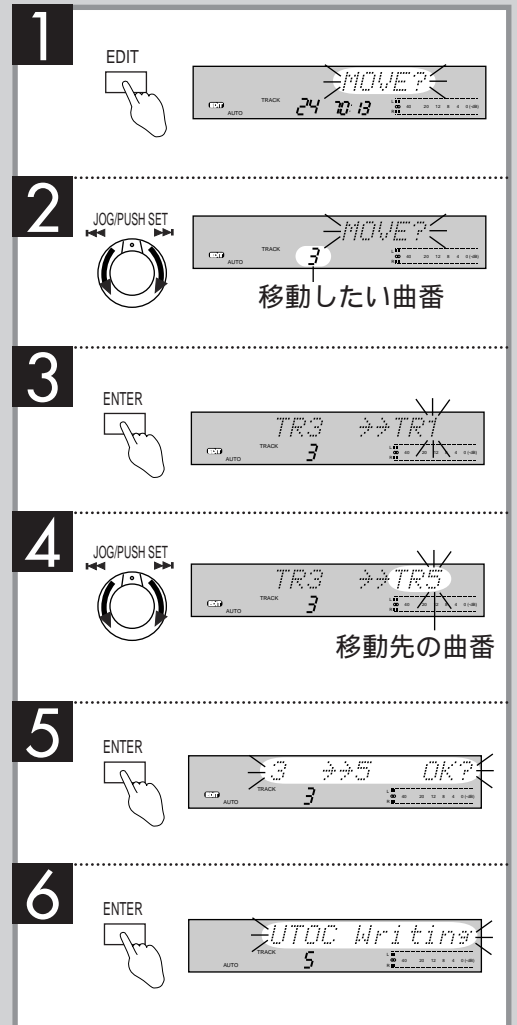
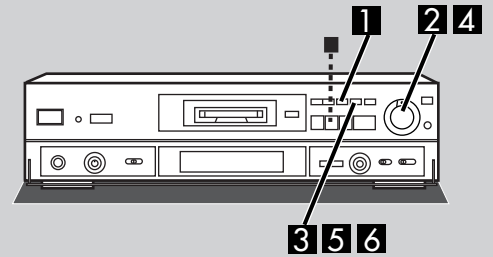
移動したい曲を演奏中に[EDIT] を押して“ MOVE? ”  
を選ぶ

[ENTER] を押す

[JOG/PUSH SET] を回して移動先の曲番を選ぶ

[ENTER] を 2 回押す

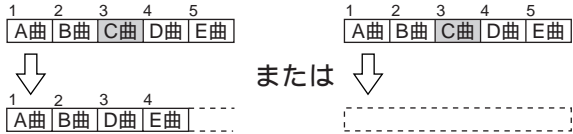
“ UTOC Writing ” の点滅が終了後、編集が完了します。



- 曲を移動する（ムーブ）
- 曲を消去する（イレース）

### 曲を消去する（イレース）

1 曲ずつ、または全曲を消すことができます。1 曲ずつ消した後は、後ろの曲が前につめられ、曲番号 1 つずつ減ります。



#### 1 曲ずつ消す（トラックイレース）

- 1 停止中に [EDIT] を押して “TRACK ERASE?” を選ぶ  
押すたびに  
TRACK TITLE? DISC TITLE? MOVE? COMBINE?  
TRACK ERASE? ALL ERASE? 元の表示
- 2 [JOG/PUSH SET] を回して  
消したい曲番号を選ぶ
- 3 [ENTER] を押す  
曲を消した後の MD の録音可能時間が表示されます。
- 4 [ENTER] を押す  
確認表示が出ます。
- 5 [ENTER] を押す  
“UTOC Writing” の点滅が終了後、編集が完了します。

途中で解除する：[ ] を押す  
演奏中の曲を消す：

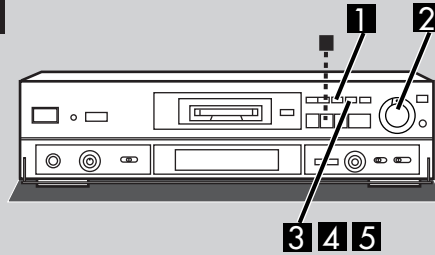
曲を確認してから編集することができます。  
消したい曲を演奏中に [EDIT] を押して  
“TRACK ERASE?” を選ぶ  
[ENTER] を 3 回押す  
“UTOC Writing” の点滅が終了後、編集が完了します。

#### 全曲を 1 度に消す（オールイレース）

- 1 停止中に [EDIT] を押して  
“ALL ERASE?” を選ぶ
- 2 [ENTER] を押す  
確認表示が出ます。
- 3 [ENTER] を押す  
“UTOC Writing” の点滅が終了後、編集が完了します。

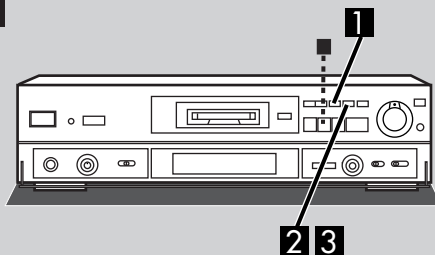
途中で解除する：[ ] を押す

### A



- 1 EDIT  
TRACK ERASE?  
24 0:13
- 2 JOG/PUSH SET  
TRACK ERASE?  
3 40?  
選んだ曲番
- 3 ENTER  
Remain Time  
3 66:06  
録音可能時間
- 4 ENTER  
ERASE OK?  
3
- 5 ENTER  
UTOC Writing  
3

### B



- 1 EDIT  
ALL ERASE?  
24 0:13
- 2 ENTER  
ERASE OK?  
24 0:13
- 3 ENTER  
UTOC Writing

## タイマーで録音 / 再生する

市販のオーディオタイマーに接続すると、好みの時刻に MD を再生したり、ラジオ放送を本機に留守録音することができます。

右図は接続例です。 **A**

他の機器の設定については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

### タイマー録音

<準備>

#### 録音したいラジオ局を受信する

##### 1 本機を録音できる状態にする

12 ページ手順 **1** ~ **5** を行い、 [ ] を押します。

##### 2 タイマーを希望の時刻に合わせる

各機器の電源が切れます。

録音スタート時間より 30 秒程度早く始まるようにセットし、また、録音終了時間より 30 秒程度遅れて切れるようにセットしてください。

##### 3 [ TIMER ] で “ REC ” を選ぶ

希望の時刻になると録音が始まります。

### タイマー再生

<準備>

#### あらかじめ、アンプで音量を調整して MD が再生できる状態にする

##### 1 MD を本機に入れる

好みの曲を再生するときは 15 ページ手順 **1**、 **2** を行ってください。

##### 2 タイマーを希望の時刻に合わせる

各機器の電源が切れます。


##### 3 [ TIMER ] で “ PLAY ” を選ぶ

希望の時刻になると再生が始まります。

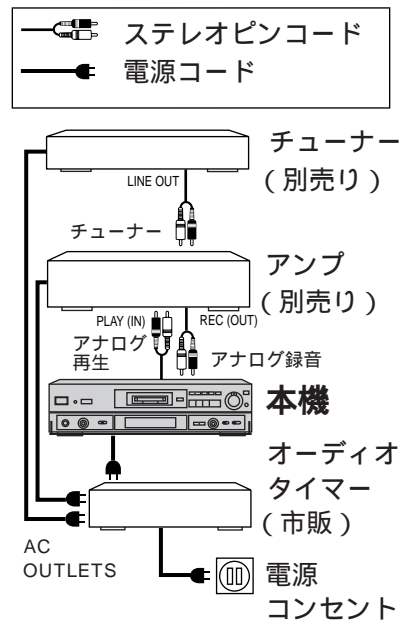
### お知らせ

タイマー録音 / 再生は、タイマーが希望時刻になってから少し遅れて始まります。

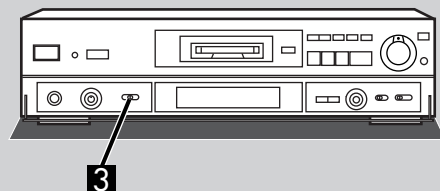
### お願い

タイマー録音 / 再生をしないときは必ず [  TIMER ] を “ OFF ” にしておいてください。

**A**



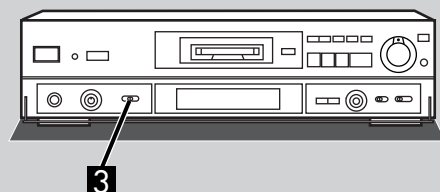
**B**



**3**



**C**



**3**

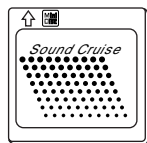


## MD について

### MD の種類

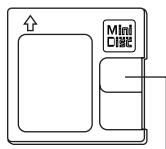
**演奏専用 MD**  
録音できません。

ビットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。この方式の MD を「光ディスク」といいます。



**録音用 MD**

磁気によってデータを記録します。この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

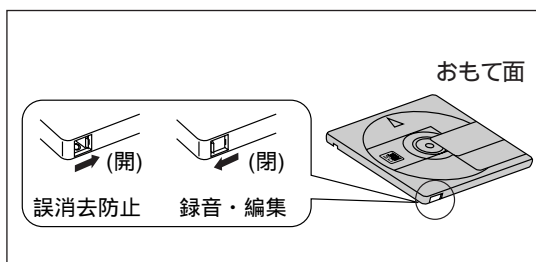


シャッター

### MD の録音・編集について

テープとは違います  
録音済みの MD は、自動的に前の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。ディスクがいっぱいになったときは編集機能でいらぬ曲を消してから録音します。(上書き録音はできません。)

大切な録音を消さないために  
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらしません。新たに録音、編集を行うときは閉じてください。



**デジタル録音の制限について**  
デジタル接続での録音には、SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) という制限があります。CD などから MD へデジタル録音すると、信号劣下の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD からさらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。(“コピーのコピー”の禁止。)  
なおアナログ録音にはこのようなしくみはありません。

### 録音、編集時のお願い

録音や編集を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。

“UTOC Writing” の点滅前に電源が切れると、録音、編集が記録されません。また、点滅中に電源が切れたり振動があると、正しく記録されません。

### よく出てくる MD 用語

#### トラックマーク

録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲まで記録することができます。

#### トック TOC (Table of Contents)

MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

#### ユートック UTOC (User Table of Contents)

利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing” と表示され注意を促します。

#### マーキング MARKING

録音中にトラックマークを記録することです。本機が曲の変わり目を判断してマーキングする他、曲を聞きながら好みの位置に自分でマーキングすることもできます。

### 取扱い上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない  
(また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした後のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れしないでください。)
- シャッターは開けない  
(万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください。)
- MD を次のような場所に置かない  
直射日光の当たる場所  
湿気やほこりの多い場所  
暖房器具の熱が直接当たる場所

## Q & A

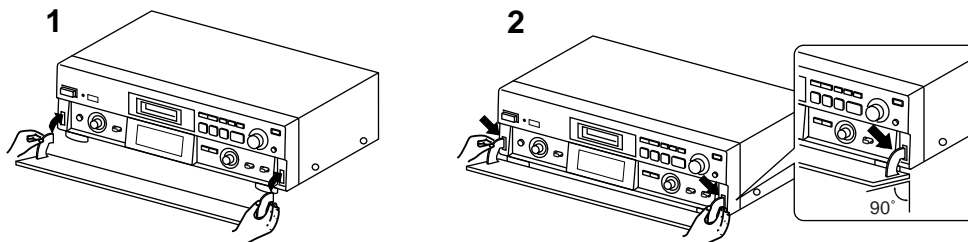
Q (質問)	A (回答)	参照ページ
<p>録音した曲に上書きで録音したい。</p> <p>1 度録音した MD に追加で録音したい。</p> <p>ステレオ/モノラル(長時間)再生を切り換えるには。</p> <p>引っ越しするのだが、そのまま使えるか。</p>	<p>MD はテープと異なり、上書き録音はできません。MD の空き時間が少ない場合は、編集機能で不要な曲を消してから録音してください。</p> <p>新たな録音を行うと、自動的に最後に録音した曲の続きから録音されます。</p> <p>録音された状態により、自動的に切り換わります。</p> <p>東日本、西日本に関係なく使えます。電源の周波数は本機の動作に関係しません。</p>	23

## 故障かな!?

こんなとき	ここを確認・処置してください	参照ページ
<p>演奏が始まらない</p> <p>録音できない</p> <p>文字を入力することができない</p> <p>曲数や録音時間が最大ではないのに録音できない MD に記載されている録音時間まで録音することができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MD は入っていますか。</li> <li>● 何も録音されていない MD が入っていませんか。</li> <li>● 再生専用の MD が入っていませんか。録音用 MD を入れてください。</li> <li>● 誤消去防止状態になっていませんか。誤消去防止つまみを解除してください。</li> <li>● 正しく接続されていますか。</li> <li>● 録音レベルが小さくありませんか。録音レベルを上げてください。</li> </ul> <p>編集可能な文字数をこえていませんか。タイトルを短くしてください。(約 1700 文字まで入力可能)</p> <p>MD の録音システムの特性上、いろいろな制約があり、このような現象がおこることがあります。</p>	<p>11</p> <p>25</p> <p>25</p> <p>7</p> <p>12</p> <p>18</p>

### 前カバーがはずれたときは

1. 図のように前カバーを差し込みます。
2. 前カバーを、カチッと音がしてはまり込むまでしっかりと押し下げてください。
3. 正しく開閉できるか確かめてください。





## こんな表示が出たら

表示	意味または処置	参照ページ
BLANK DISC	▶ 録音されていない MD が入っています。	
CANNOT COMBINE	▶ コンバインすることができない曲をコンバインしようとしています。また、1 曲目をコンバインすることはできません。	
CANNOT EDIT	▶ 101 文字以上のタイトルが入っているものは、本機で編集することができません。必要ならばタイトルをつけた機器でタイトルを短くしてください。	
DIGITAL IN UNLOCK	▶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 光ケーブルが正しく接続されていません。</li> <li>● 本機と接続されている再生機の電源が入っていません。</li> </ul>	7
DISC ERROR	▶ MD に異常があるか、損傷しています。	
DISC FULL	▶ MD の空き時間がないか、曲数が最大 (254) になっています。必要ならば不要な曲を消すか、コンバインで曲数を減らしてください。	21、23
DISC PROTECTED	▶ MD が誤消去防止状態になっています。誤消去防止つまみを解除してください。	25
EJECT ERRORまたはLOAD ERROR	▶ MD を出し入れしたときに異常が発生しました。自動的に電源が切れますので電源を入れ、もう一度行ってください。	
EMERGENCY STOP	▶ 録音中に異常が発生しました。MD を入れ直して初めから操作を行ってください。	
NO DISC	▶ MD が入っていません。	
PLAYBACK DISC	▶ 再生専用の MD に録音や編集をしようとしています。	
SCMS CANNOT COPY	▶ 一度デジタル録音した MD からさらに別の MD ヘデジタル録音することは禁止されています。アナログ録音することはできます。	
TRACK PROTECTED	▶ 曲にプロテクト (保護) がかかっています。プロテクトをかけた機器で解除してから消去してください。(本機では全消去 -ALL ERASE- のみ可能です。)	
UTOC FULL	▶ MD に情報を書き込める余裕がありません。必要ならば不要なタイトルや曲を消去するかタイトルを短くしてください。	18、23
UTOC FULL CANNOT DIVIDE	▶ すでに曲数が最大 (254) になっています。これ以上ディバイドで曲を分けることはできません。不要な曲を消すか、コンバインで曲数を減らしてください。	21、23

## 必要なとき

# お手入れ こんな表示が出たら

## お手入れ

本機が汚れたら  
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤 (中性) を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

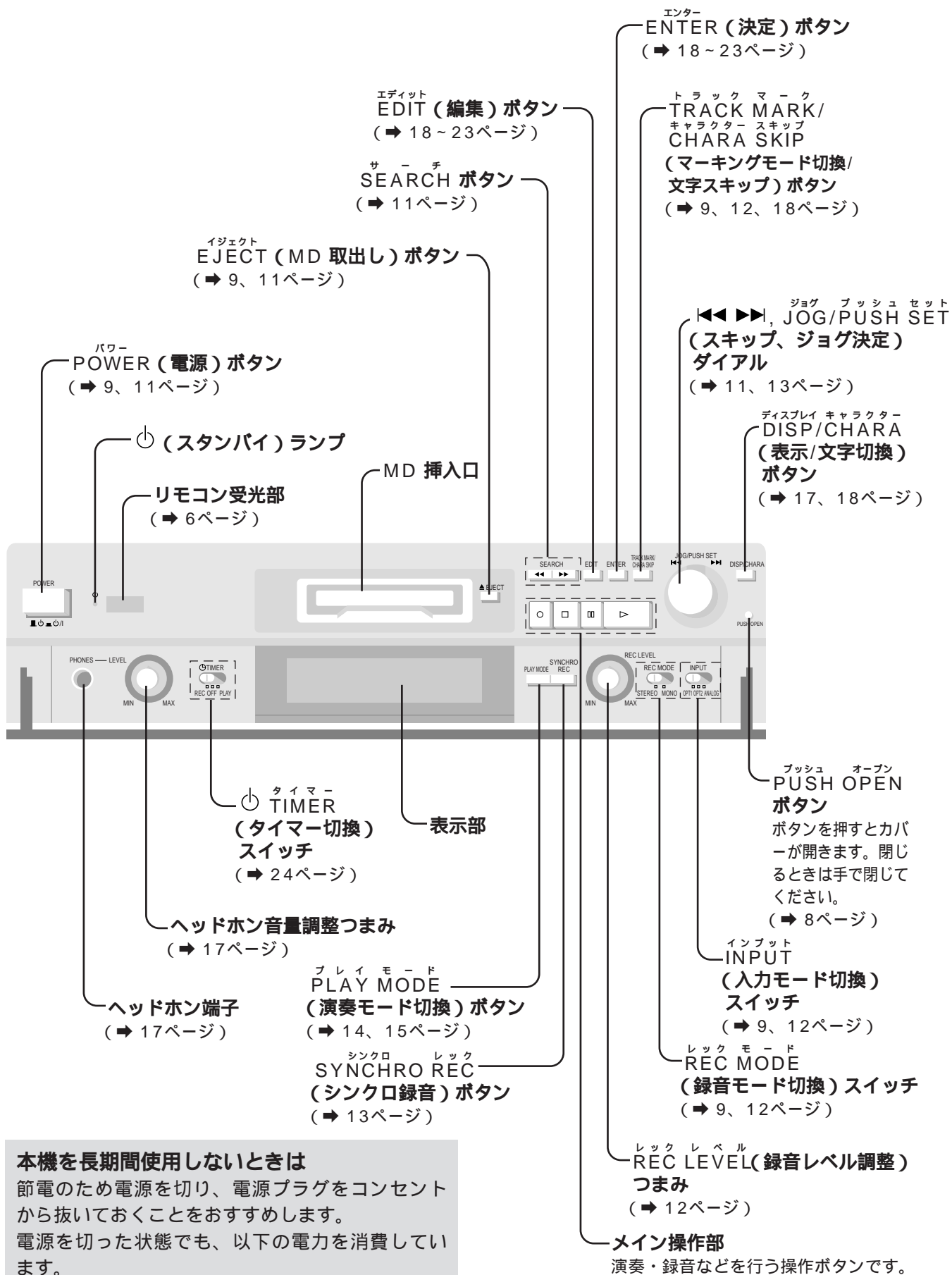
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

MD を良い音でお楽しみいただくために別売りの専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品:

MD レンズクリーナー  
(品番 RP-CL310)

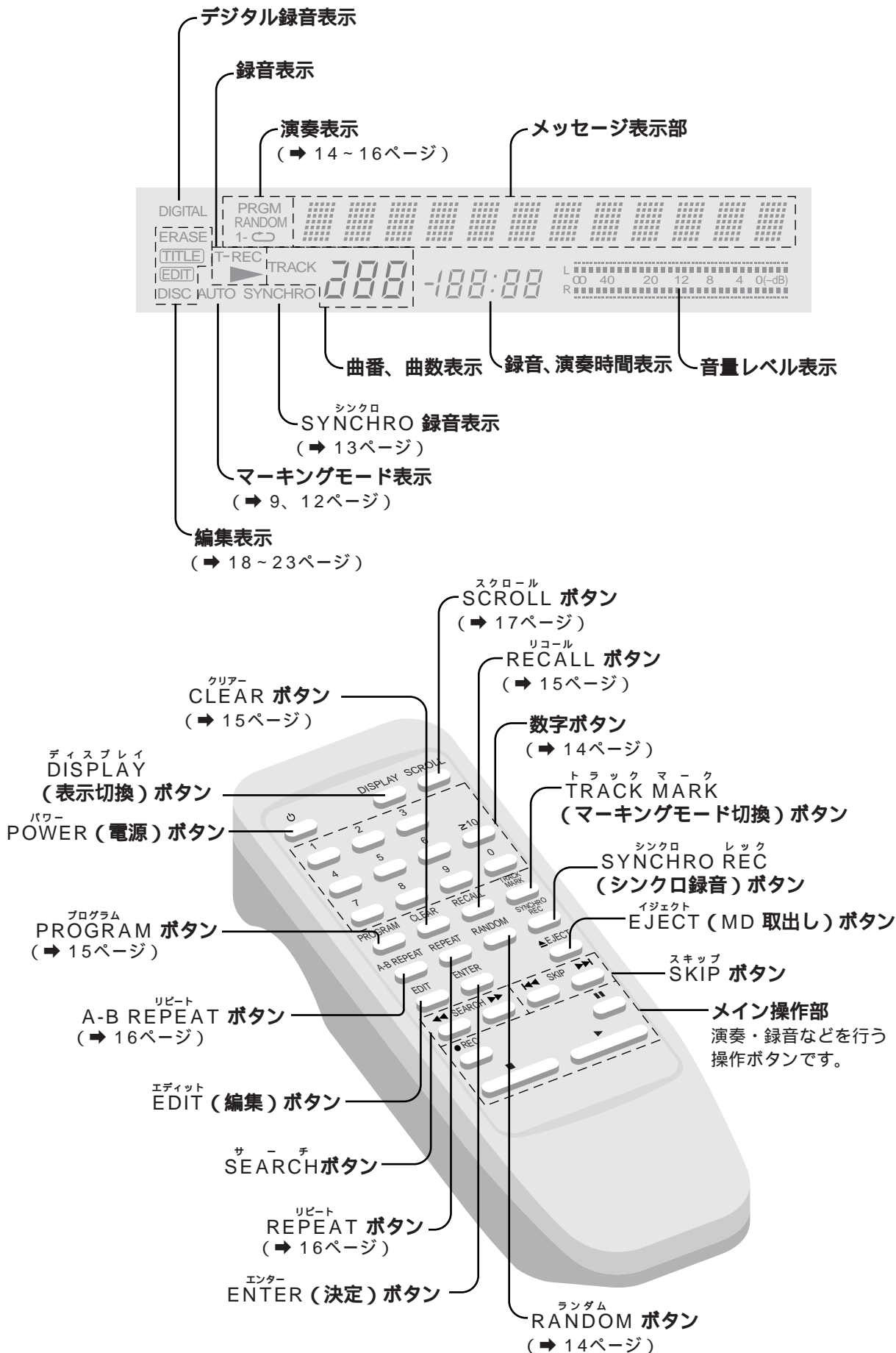
MD 録音ヘッドクリーナー  
(品番 RP-CL320)



本機を長期間使用しないときは節電のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。電源を切った状態でも、以下の電力を消費しています。

- リモコンで切ったとき：3.6 W
- 本体の [POWER] で切ったとき：2.0 W

必要なとき



## 修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へ  
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

### 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

### 修理を依頼される時

26 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。


- 保証期間中は  
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。  
ただし、ミニディスクデッキの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。  
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金のしくみ  
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック  
お客様ご相談センター

パナは 365日  
 0120-878-365

フリーダイヤル（料金無料）

365日 / 受付9時～20時

International Customer Care Center  
ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)  
海外仕様商品（輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品）についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0699

必要なとき

よくお読みください

## ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

### 北海道地区

札幌 ☎(011)894-1251  
札幌市厚別区厚別南  
2丁目17-7

旭川 ☎(0166)31-6151  
旭川市2条通21丁目  
左1号

帯広 ☎(0155)33-8477  
帯広市西19条南  
1丁目7-11

函館 ☎(0138)48-6631  
函館市西桔梗589番地  
241(函館流通卸  
センター内)

### 東北地区

青森 ☎(0177)39-9712  
青森市大字八ッ役  
字矢作1-37

秋田 ☎(018)826-1600  
秋田市御所野湯本  
2丁目1-2

岩手 ☎(019)639-5120  
盛岡市羽場13地割  
30-3

宮城 ☎(022)375-2512  
仙台市泉区市名坂  
字清水端59-2

山形 ☎(023)641-8100  
山形市流通センター  
3丁目12-2

福島 ☎(0243)34-1301  
福島県安達郡本宮町  
字南ノ内65

### 首都圏地区

栃木 ☎(028)689-3321  
宇都宮市御幸町  
194-20

群馬 ☎(027)352-1217  
高崎市萩原町中  
205-18

水戸 ☎(029)225-0119  
水戸市柳河町309-2

つくば ☎(0298)64-8090  
つくば市花畑2丁目  
8-1

埼玉 ☎(048)728-8960  
桶川市赤堀2丁目4-2

千葉 ☎(043)208-6011  
千葉市中央区  
星久喜町172

船橋 ☎(047)334-5111  
船橋市本中山6丁目  
11-7

柏 ☎(0471)63-8905  
柏市北柏1丁目6-6

東京 ☎(03)5477-9780  
東京都世田谷区宮坂  
2丁目26-17

山梨 ☎(0552)22-5171  
甲府市下飯田2丁目  
1-27

神奈川 ☎(045)847-9720  
横浜市港南区日野  
5丁目3-16

新潟 ☎(025)286-7725  
新潟市東明1丁目  
8-14

### 中部地区

石川 ☎(076)294-2683  
石川県石川郡野々市町  
稲荷3丁目80

富山 ☎(0764)32-8705  
富山市寺島1298

福井 ☎(0776)54-5606  
福井市開発4丁目112

長野 ☎(0263)58-0073  
松本市大字笹賀  
7600-7

静岡 ☎(054)287-9000  
静岡市西島765

名古屋 ☎(052)819-0225  
名古屋市瑞穂区  
塩入町8-10

岡崎 ☎(0564)55-5719  
岡崎市岡町南久保28

岐阜 ☎(058)323-6010  
岐阜県本巣郡北方町  
高屋太子2丁目30

高山 ☎(0577)33-0613  
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎(059)255-1380  
久居市森町字北谷  
1920-3

### 近畿地区

滋賀 ☎(077)582-5021  
守山市勝部町6丁目  
2-1

京都 ☎(075)672-9636  
京都市南区  
上鳥羽石橋町20-1

大阪 ☎(06)6359-6225  
大阪市北区本庄西  
1丁目1-7

奈良 ☎(0743)59-2770  
大和郡山市椎木町  
404-2

和歌山 ☎(0734)75-1311  
和歌山市中島499-1

兵庫 ☎(078)272-6645  
神戸市中央区  
琴ノ緒町3丁目2-6

### 中国地区

鳥取 ☎(0857)26-9695  
鳥取市安長295-1

米子 ☎(0859)34-2129  
米子市米原4丁目  
2-33

松江 ☎(0852)23-1128  
松江市西津田2丁目  
10-19

出雲 ☎(0853)21-3133  
出雲市渡橋町416

浜田 ☎(0855)22-6629  
浜田市下府町  
327-93

岡山 ☎(086)292-1162  
岡山県都窪郡早島町  
矢尾807

広島 ☎(082)295-5011  
広島市西区南観音  
8丁目13-20

山口 ☎(0839)86-4050  
山口市鑄銭司  
字鑄銭司団地北  
447-23

### 四国地区

香川 ☎(087)868-9477  
高松市勅使町152-2

徳島 ☎(0886)98-1125  
徳島県板野郡北島町  
鯛浜字かや108

高知 ☎(0888)66-3142  
南国市岡豊町中島  
331-1

愛媛 ☎(089)971-2144  
松山市土居田町  
750-2

### 九州地区

福岡 ☎(092)593-9036  
春日市春日公園  
3丁目48

佐賀 ☎(0952)26-9151  
佐賀市本庄町  
大字本庄896-2

長崎 ☎(095)830-1658  
長崎市東町1949-1

大分 ☎(097)556-3815  
大分市萩原4丁目  
8-35

宮崎 ☎(0985)85-6530  
宮崎県宮崎郡清武町  
下加納366-2

熊本 ☎(096)367-6067  
熊本市健軍本町12-3

天草 ☎(0969)22-3125  
本渡市港町18-11

鹿児島 ☎(099)250-5657  
鹿児島市与次郎  
1丁目5-33

大島 ☎(0997)53-5101  
名瀬市矢之脇町  
10-5

### 沖縄地区

沖縄 ☎(098)877-1207  
浦添市城間4丁目23-11



# 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：(社)私的録音補償金管理協会  
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

## 日本音楽著作権協会

本部 (03) 3502-6551	中部支部 (052) 583-7590
北海道支部 (011) 221-5088	北陸支部 (0762) 21-3602
盛岡支部 (0196) 52-3201	京都支部 (075) 251-0134
仙台支部 (022) 264-2266	大阪支部 (06) 6244-0351
大宮支部 (048) 643-5461	大阪北支部 (06) 6244-7077
東京支部 (03) 3562-4455	神戸支部 (078) 322-0561
西東京支部 (03) 3232-8301	中国支部 (082) 249-6362
鯉ヶ谷・コナートビル (03) 5286-1671	四国支部 (0878) 21-9191
立川支部 (0425) 29-1500	九州支部 (092) 441-2285
横浜支部 (045) 662-6551	鹿児島支部 (0992) 24-6211
静岡支部 (054) 254-2621	那覇支部 (098) 863-1228

# 主な仕様

形式 ミニディスクデジタルオーディオシステム  
記録 磁界変調オーバーライト方式  
読み取り 半導体レーザー（波長=780nm）による非接触光学式

標本化周波数 44.1 kHz  
圧縮/伸張方式 ATRAC 方式  
チャンネル数 2チャンネル（ステレオ）

周波数特性（再生時） 5~20,000 Hz（±0.3 dB）  
SN比（再生時） 99 dB  
ダイナミックレンジ 97 dB  
ワウ・フラッター 測定限界以下（EIAJ）

入力端子  
アナログ入力（レベル/インピーダンス）  
500 mV/47 k

デジタル入力（録音 1、録音 2）  
波長 660 nm

出力端子  
アナログ出力（レベル/インピーダンス）  
2.0 V/600

デジタル出力（再生）  
光出力パワー -17 dBm  
波長 660 nm

ヘッドホン出力 15 mW max.32（可変）

総合電源 AC 100 V 50/60 Hz  
消費電力 10 W

待機消費電力  
リモコンで電源「切」の時 3.6 W  
[POWER] ボタンで電源「切」の時 2.0 W

寸法（幅×高さ×奥行） 430×300×103mm  
重さ 3.4 kg

注) この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

## 愛情点検

長年ご使用の「ミニディスクデッキ」の点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音が出る
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

販売店名	☎ ( ) -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ ( ) -	品 番	SJ-MD150

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571-8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT5158-S

H0899SM0 (D)